

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番

氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者

(□をつける)

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員長

発言項目及び要旨

1・安全で安心なまちづくりの推進について (SDGs11)

これまで当市においても、風水害などの天災や火災のほか、事故・事件など不幸な経験からその対応策が図られている。災害や事故をゼロに抑えることが難しいことから、万が一のときに被害を最小限に抑えるためには、防災、減災・予防等を推進させる官民挙げての連携できる地域コミュニティの必要性を感じている。過去に起きた事例をもとに、市民の協働と参画の仕組みについて質したいと思う。

(1)閉校後の校舎等の施設の利用について

地域の小中学校や教育(青少年ホーム)等の施設は、諸会議やスポーツ、防災訓練にも利活用されるなど地域コミュニティに必要な施設であると思っている。

市町村合併後の人口減少などから小中学校の統合がすすめられてきたが、閉校後の施設の利活用等の課題について質す。

- ① これまでの閉校施設の利活用状況を問う。
- ② 旧雲雀丘小学校校舎が地域利用できない理由を問う。
- ③ 青少年ホームにかわる音楽等に利用できる施設について問う。

(2)犯罪のない安全安心なまちづくりについて

島根県立大学生が理不尽に命を絶たれるという悲惨な事件から、この記憶を風化させることなく、命を尊び、だれもが安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、市民一人ひとりが命の尊さと安全安心について考えるために「いのちと安全安心の日」を制定されているがその後の推進を質す。

- ① 犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進状況を問う。
- ② 地域の安全に有効な防犯カメラの設置が進んでおり、またドライブレコーダーの活用についても様々な視点で予防に寄与していると考えが認識を問う。

(3)浜田市消防の体制整備について

- ① 浜田漁港波止から海に乗用車が転落した水難死亡事故から、その後海上の救助体制がつくられていると認識するが、現在の整備状況及び体制を問う。
- ② 様々な災害に対応できる訓練施設や資機材の整備状況を問う。

(4) 道路のバリアフリー化整備について

高齢者や障がい者などが円滑に利用できる道路(歩道)の整備について、バリアフリー法に基づき、ユニバーサル社会の実現に向け障がい者に優しいまちづくりを目指したハード・ソフト施策の充実の視点からの整備を質す。

- ① 誰もが歩きやすい道路の整備の状況を問う。
- ② 国県要望の実現性について問う。